



Victory is sweetest when you've known defeat.- Malcolm Forbes

これから受験を控える3年生！がんばれ！！

2学期も終わり、各大学の推薦入試の結果も出そろいました。結果が良かった人も一歩及ばず残念であった人もいました。これが受験というものです。しかし、結果はどうあれチャレンジしたことは絶対に無駄じゃない。心からそう思います。本気で挑んだ経験は何にも代えることのできない宝物です。その宝物は今は価値がないと思っても、長い人生で輝く日が必ず来ます。そう思って、前に進んでいきましょう。

そして、まだまだ厳しいチャレンジを続ける人もいます。最後まであきらめず自分の目標に向かって進んでいく姿、本当に立派です。まだ時間はあります。悔いの残らぬよう、全力で駆け抜けていきましょう。



画像は 井上雄彦「スラムダンク」より

進路の決まった3年生は、その挑戦する友人たちを応援してほしいと思います。別に特別なことをする必要はありません。ただ、努力する友人たちに敬意を払えばいいのです。そうすれば必ずとすべき行動は決まってくると思います。3年生の本当の意味での団結力に期待しています。

2年生へ…新3学年への準備はできているか？



2年生の中にもだんだんと進路を意識してきた生徒も多いのではないのでしょうか。それもそのはず、あと1か月もすれば3年生は自宅学習に入り、実質2年生が最高学年となります。

進路意識が向上しているのはいいことだと思います。しかし、自分の進みたい進路について正しく理解し、今何をすべきなのかが明確になっていなければ、ただ慌てているだけと同じです。

では2年生にとって一番大切なことは何か。それは授業を始めとした基本的な学校生活をしっかりと過ごすこと、学習と部活動に熱心に打ち込むことです。この土台がきちんとしていないと、どんな対策を取ったとしても付け焼き刃に過ぎず、思ったような結果は得られないでしょう。

困難にぶち当たったとき、自分を助けてくれるのは「確かな学力」「継続した経験」そしてそこから生まれる「やればできるという自信」です。

本当に価値のあるものは、短期間に簡単には手に入りません。確実に力を付けていきましょう。

また、今まで先輩が受けてこなかった大学を受験するなど、自身にとって難しめのチャレンジをしたい、という生徒も多くいると思います。そういう生徒は、スタートが肝心です。今からモードを切り替えて、しっかりと準備をしましょう。

みんなと同じ時期にスタートして、同じことをやっても差は縮まることはありません。なので、人よりも早く準備して、+αの努力をするよう心がけてください。頑張りましょう！

画像は 満田拓也「MAJOR」より

先輩に学べ！～合格体験記～

今年度も様々な学校や会社へチャレンジをし、見事合格を勝ち取った生徒が多くいます。その中から、今回は福島大学へ合格した平野知佳さん、山形大学へ合格した大塚八雲君に受験に関するお話を聞きました。

1・2年生にとっては自身の進路実現に向け大きなヒントとなることも多いと思います。ぜひ参考にしてください！

① 1日の学習時間を教えてください。

平日:3時間 休日:5時間(平野さん)

平日:4.5時間 休日:10時間(大塚くん)

② 進路達成に向け特に心がけたことは何ですか？

・ニュースに対する自分の考えを持つこと。
・新聞を読むこと。(特に会津の記事)
・町についてより深く知るために広報みなみあいつを読むこと。
・現在行われている政策やイベントについてチェックした。(平野さん)

物事の優先順位を決めて時間管理をしたことですね。とにかくやるべきことが多くて苦労しましたが、朝起きて勉強して時間を生み出し、現実から目を背けず常にストイックを心がけました。(大塚くん)

③ 実際に試験を受けて、予想外だったことは何でしたか？

小論文の形式が今までのものと異なっていたこと。とても焦った。面接も面接練習で行ったような基本的な質問(志望理由、高校生活についてなど)はされず、志望理由書の内容について深く聞かれた。(平野さん)

志望動機を深く聞かれるだろうな一と思って用意していましたが、一切聞かれなくて焦りました。面接は予想外だと思った方がいいです。フレキシブルに対応する度胸が必要です。(大塚くん)

④ 推薦対策として効果的だったことを教えてください。

先生との面接練習を重ね、どんな質問にも対応できるようにしたこと。また、家でも両親と町の政策について話し合い、「自分の意見」を確実に言えるようにした。小論文は過去問を解くこと。色々な題材のものを解くと良い。(平野さん)

4月から環境、自然、農業系の新聞記事をスクラップして要約と意見文を書いたり、ネットで世界の環境問題のサイトを印刷してファイルにまとめたりしました。シカ柵ボランティアやヤナギ観察会に参加したことも効果的でした。(大塚くん)

⑤ 1, 2年生のうちやっておけば良かったこと、やっておいて良かったことは何ですか？

本を読むこと。小説でもいいが、たまに新書を読んで難しい文に慣れておくべき。自分の進みたい分野に関するイベントがあれば積極的に参加しておいた方がいい。(平野さん)

基礎の徹底ですね。基礎が不安定な状態で応用ができるはずがないです。そのために、定期テストに全力でぶつかって、大変ですが復習をしましょう。英検2級は取っておいてよかったです。推薦対策にもなりました。(大塚くん)

⑥ 後輩へのメッセージをお願いします！

小論文でも面接でも、「自分の考え」を求められるので、日頃から自分の意見をはっきり言えるようにすることが大切だと思います。「どうしてもこの大学で学びたい!」という強い熱意があれば、自信を持って受験に臨むことができます。(平野さん)

2年生はこれからの1年、自分自身の行動で将来が変わります。勉強に本気になるのも部活が終わって気が抜けるのもあなた次第です。趣味、SNS、恋愛すべてを切り捨てる覚悟を持ってください。そして、他人の目を気にせず自分を貫くことが一番大事です!自分の戦い、それが受験です。頑張れ!(大塚くん)

進路コラム 先日、俳優の菅田将暉さんに密着したテレビ番組を何となく見ていた。その中で、演技だけでなく音楽など様々な分野に挑戦するのはなぜか、と問われて「できるものって楽しいですか?」と発言したことが非常に印象に残った。私たちはできないことだらけでこの世に生まれ、生きるために少しずつできることを増やし、成長してきた。しかし、私たちは本当に「生きるため」だけにできないことに挑戦してきたのだろうか。それ自体に「楽しさ」があったからこそ若い私たちは数々の困難に挑戦してきたのではないだろうか。そう思わせてくれる言葉であった。

別の機会に株式会社メタップス社長である佐藤航陽氏(福島県出身)のインタビューを読んだ。氏は若くして起業し、フォーブス誌「日本を救う起業家ベスト10」やアジアを代表する30歳未満である「Under 30 Asia」に選出された経歴も持つ。以下はそのインタビューの引用である。「…私は自分でやればできると分かっている仕事は、基本的にやらない主義なんです。できるに決まっていることに手を出すのは、時間の無駄ですから。」(EL BORDEより引用) …進路決定の最も基本的な基準は人生を豊かにできるかどうか、だと思う。であるならば難しい道を選び続けることこそが本当の意味で良い進路といえるのではないだろうか。